

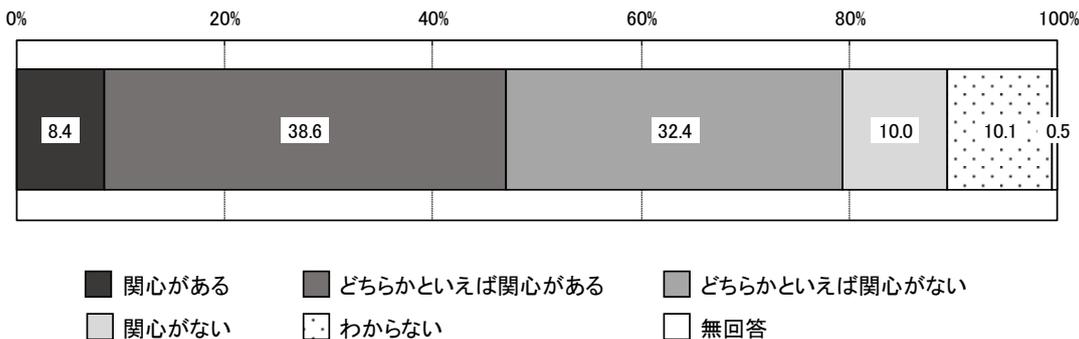
問9 県事業への関心の有無

問9 あなたは、岐阜県が行っている事業やその進め方について、関心をお持ちですか。
(1つだけ)

全体（図9-1）でみると、「どちらかといえば関心がある」が38.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば関心がない」（32.4%）、「関心がない」（10.0%）の順となっている。

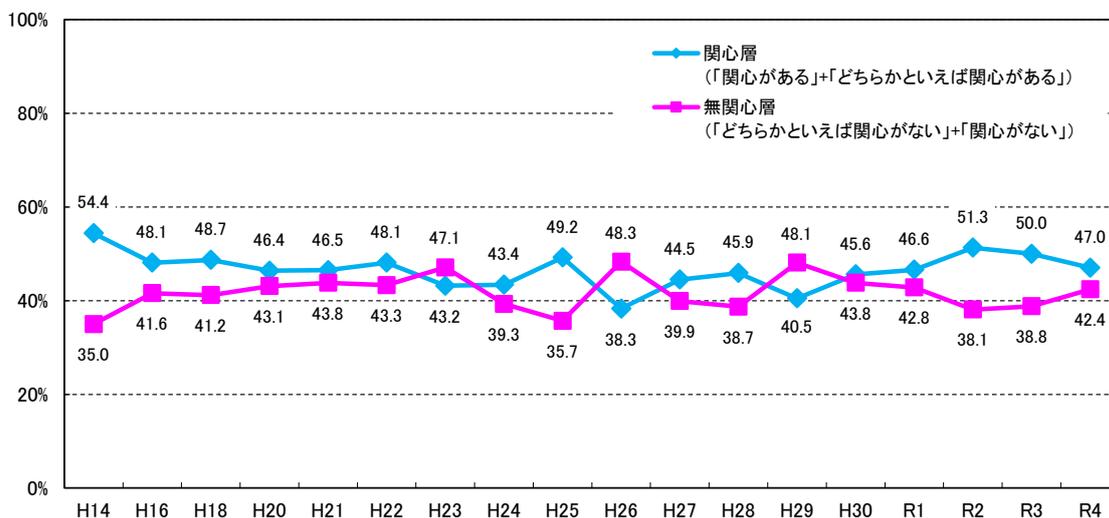
図9-1 県事業への関心の有無

回答者数(n = 1,616)



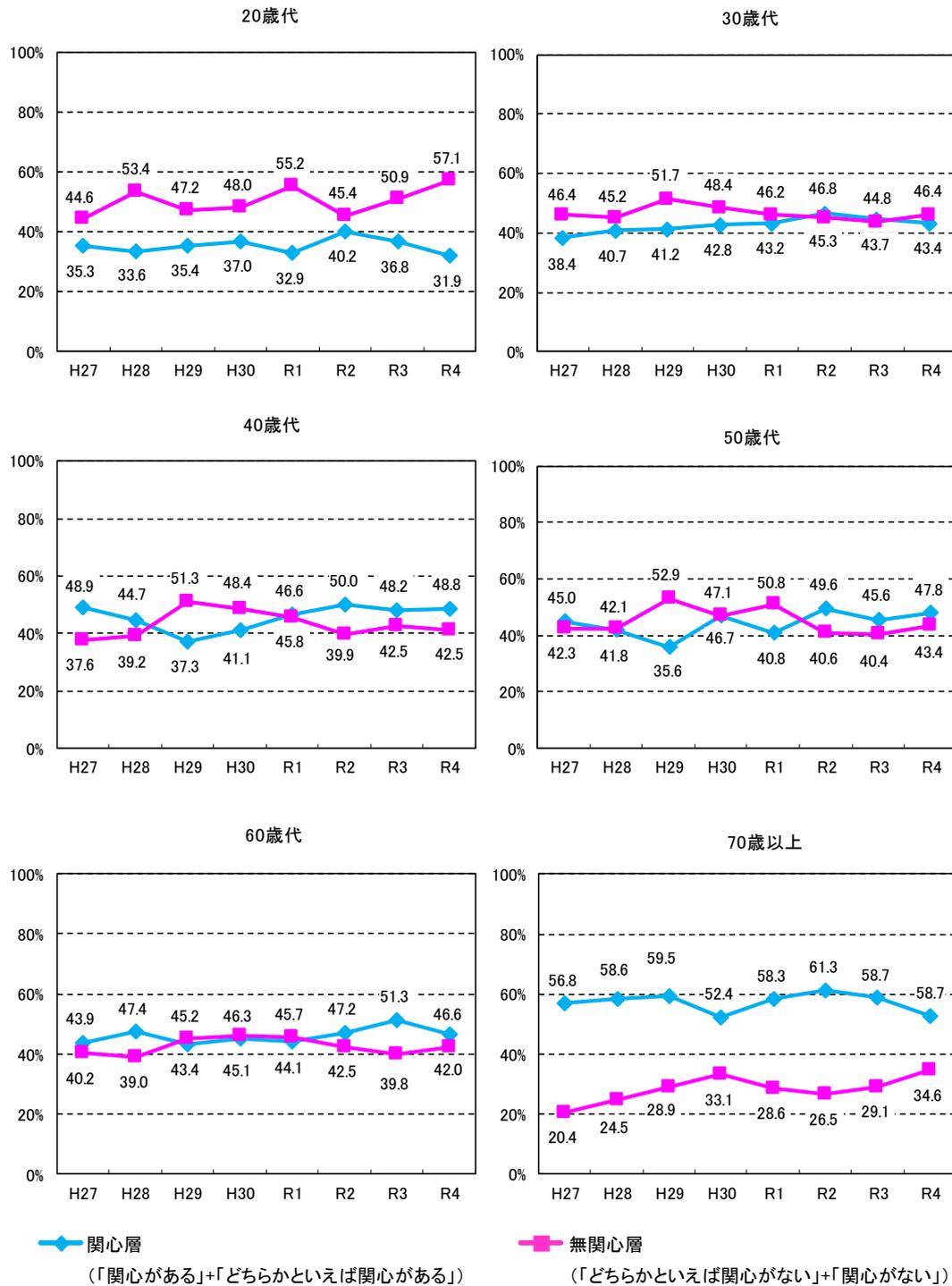
経年変化（図9-2）でみると、令和4年は、前年より「関心層」（「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」）が3.0ポイント減少し、「無関心層」（「どちらかといえば関心がない」+「関心がない」）が3.6ポイント増加しているが、引き続き「関心層」が「無関心層」を上回っている。

図9-2【経年変化】県事業への関心の有無



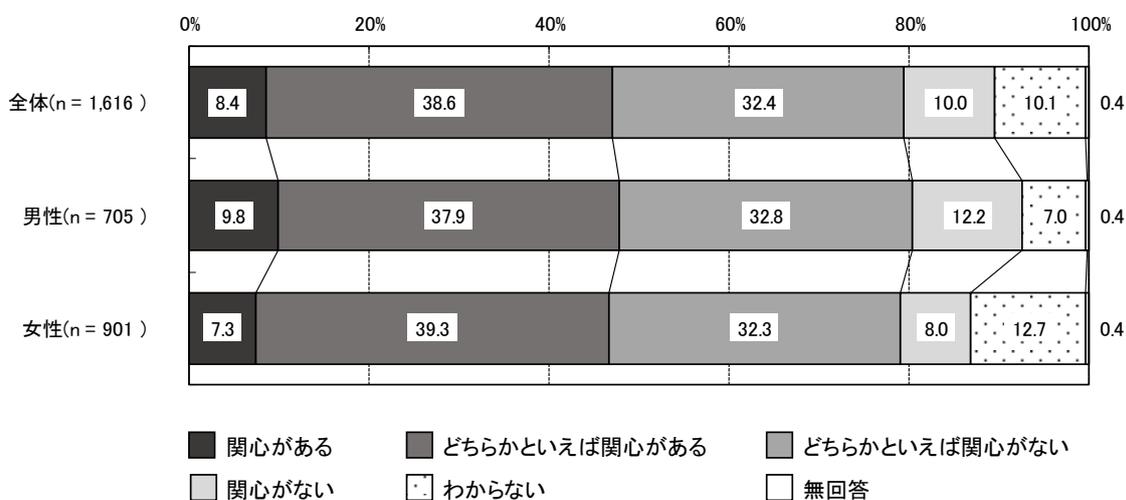
年代別の経年変化（図 9-3）でみると、「関心層」において 40 歳代、50 歳代では若干増加しているが、その他の年代においてはいずれも前年に比べて「関心層」が減少している。特に 20 歳代では 31.9%と最も低くなっている。70 歳以上では一貫して「関心層」が「無関心層」より高くなっている。

図 9-3 【経年変化(年代別)】 県事業への関心の有無



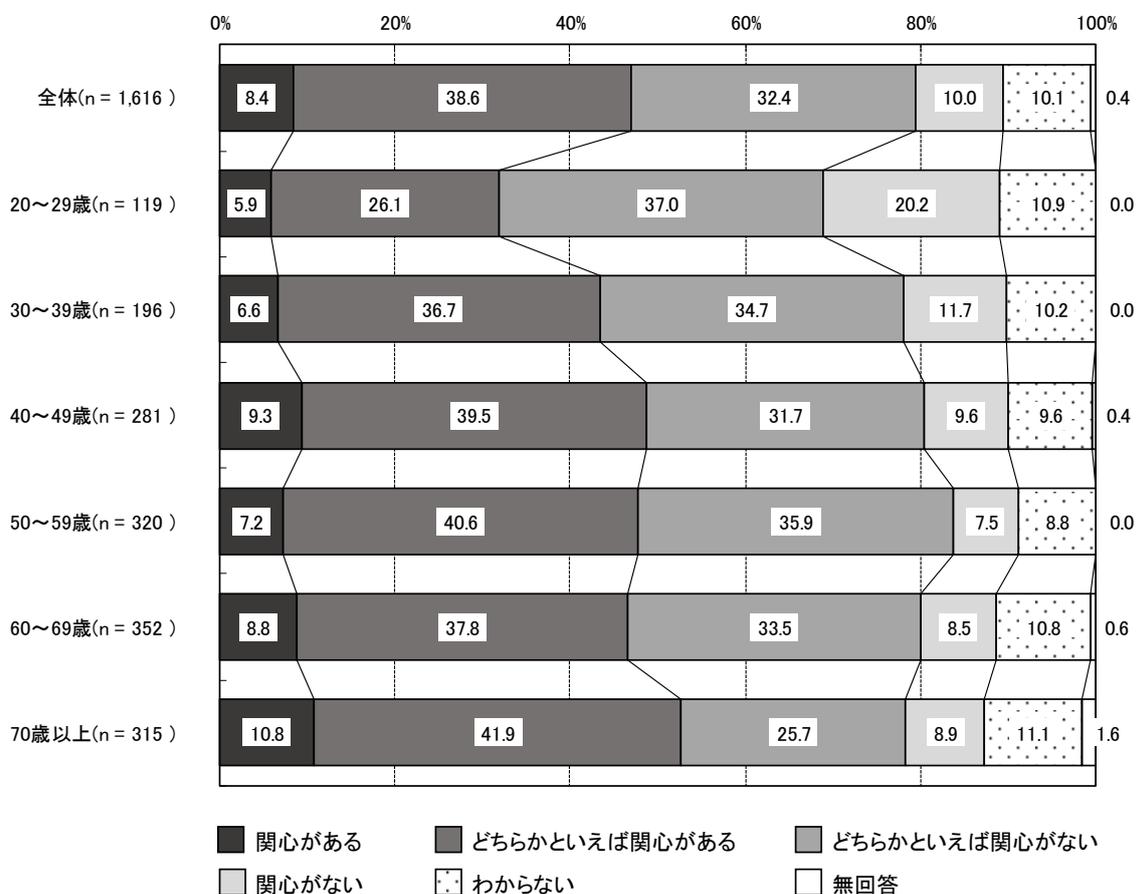
性別（図 9-4）で見ると、男女ともに「どちらかといえば関心がある」が最も高くなっている。

図 9-4 【性別】 県事業への関心の有無



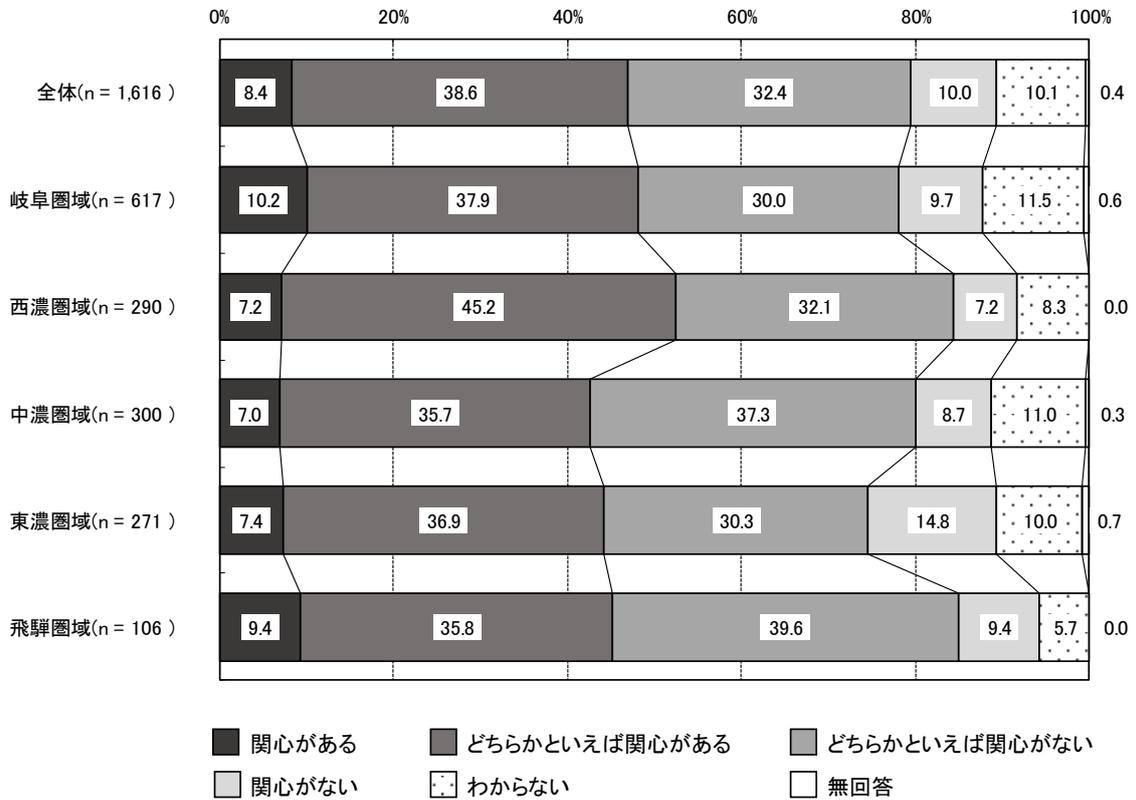
年代別（図 9-5）で見ると、20 歳代を除くいずれの年代においても「どちらかといえば関心がある」が最も高くなっている。

図 9-5 【年代別】 県事業への関心の有無



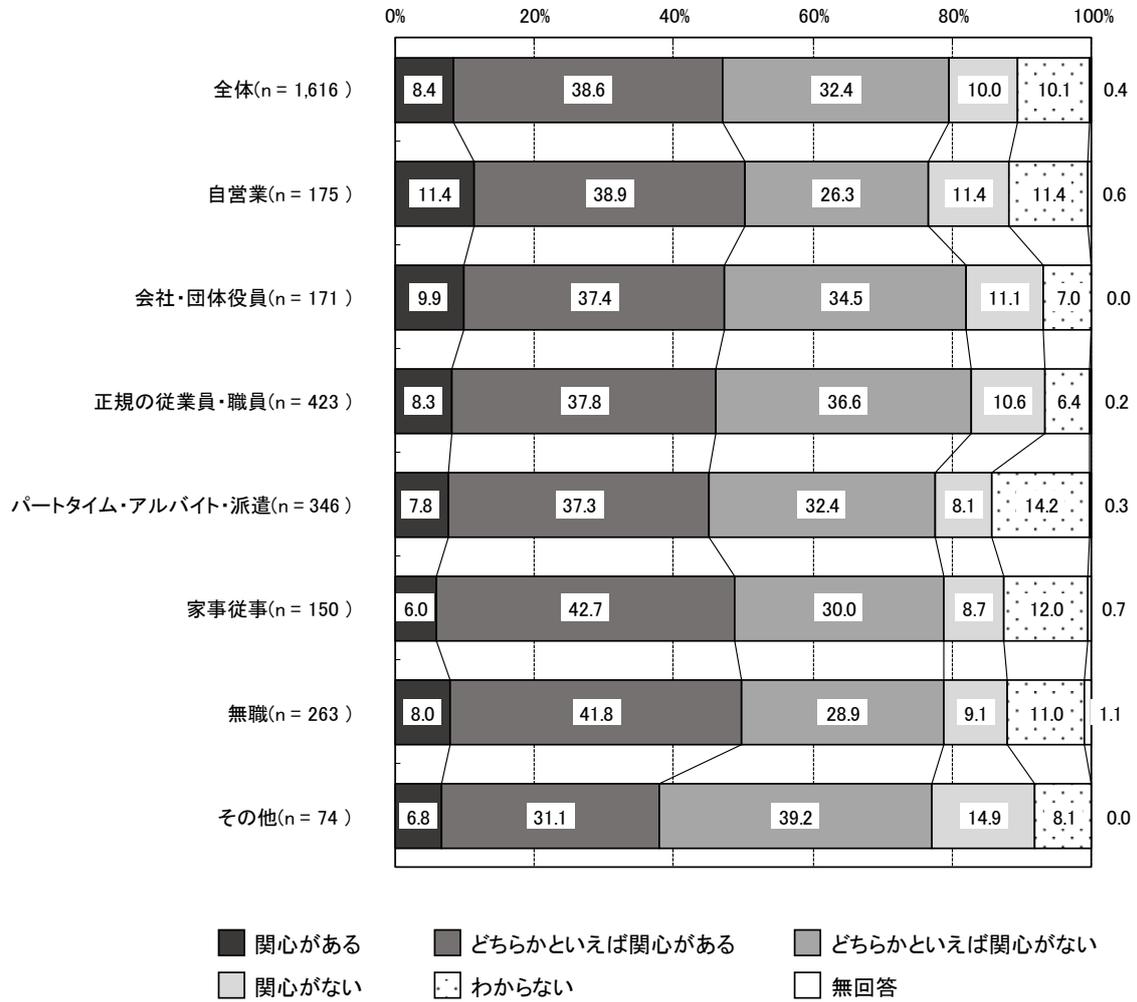
居住圏域別（図 9-6）でみると、岐阜圏域、西濃圏域、東濃圏域では「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち西濃圏域が 45.2%と最も高くなっている。中濃圏域、飛騨圏域では「どちらかといえば関心がない」が最も高く、そのうち飛騨圏域が 39.6%と最も高くなっている。

図 9-6 【居住圏域別】 県事業への関心の有無



職業別（図 9-7）で見ると、その他を除くいずれの職業においても「どちらかといえば関心がある」が最も高くなっている。その他では「どちらかといえば関心がない」が 39.2%と、他の職業に比べて最も高くなっている。

図 9-7 【職業別】 県事業への関心の有無



※ その他には、自由業、学生を含む。